

群馬大学工業会・東海連合支部
第15回絵画鑑賞会

日時：2022年10月5日（水）15：00－16：30

場所：名古屋市博物館、名古屋市

参加者：三浦俊昭（S39W）、新澤洋保（S42C）、阿部桂三（修-S46）、清水堪蔵（S49C）

兵馬俑と古代中国－秦漢文明の遺産（9月10日－11月6日開催）

日中国交正常化50周年記念行事。東海連合支部の三浦（S39C）さん、宮下さん（S40W）、清水（S49C）は、2017年にシルクロードの旅で中国の兵馬俑博物館を実際に訪問しているの、特別関心があった。今回の展覧会では、約8000体ある中国の兵馬俑から数体の兵と馬の像が展示されていた。他に古代の備品や、漢の時代に小さくなった兵馬俑が展示されて、像の変遷も理解できた。



兵馬俑展の様子-名古屋市博物館 2022-10-5



中国西安の兵馬俑 2017-05-24に清水撮影



中国を始めて統一した、秦の始皇帝陵の近くで発見された兵馬俑のスケールの大きさに改めて圧倒される。宇宙から見ると秦の始皇帝陵とエジプトのピラミッドは、規模、形が似ていると言う。

兵馬俑展、名古屋市博物館の前で。
左から、清水、阿部桂三さん、三浦さん
新澤さん

懇親会： 見学後、博物館の近くで参加者4人による懇親会が行われた。 展覧会の感想、中国の歴史の偉大さ等酒の肴にして話し合った。話は発展して、東海発ベンチャー企業創生（若手から100歳以上迄参加出来る）について今後アイデアを出していく事を話し合って散会した。



(文責：清水堪蔵一世話役)